



①文化を創る人づくり事業

0.3億円規模

新 次世代文化育成事業

③〇当初 12 百万円

- 幼稚園や学校等において、体験活動を通じて文化・芸術に触れる機会を創出

新 京都デジタルアミューズメントアワード事業

③〇当初 4 百万円

- 将来伸びゆく若手クリエイターを京都から世界に発信するための賞の創設

部門	①ゲーム・インタラクティブ部門 ②映画・アニメ等映像部門
賞金	グランプリ：50万円 部門賞：25万円（制作活動への支援）

新 Kyoto Art for Tomorrow 2019 開催費

③〇当初 16 百万円

- 京都の地で伝統と現代の間に生み出される次世代作家の新しい芸術の展覧会
 - ・ 企業賞を新設（受賞作品の社内オープンスペース等での展示・公開）
 - ・ 入賞作家は「ワールドアーティストフェア京都」出展の優先枠として推薦

新 明治150年大学等連携プロジェクト事業

③〇当初 5 百万円

- 京都大学等と連携して次代を担う若者が明治期の京都を学び未来を考えるシンポジウム等の開催



②明治150年記念京都発信事業

0.8億円規模

拡 「ワールドアーティストフェア京都」開催費

③〇当初 34 百万円

- 新たな市場の開拓に向けアーティスト自らが出展・プレゼン・作品販売を行う見本市等の開催
- 世界でも例のない美術展スタイルのフェアとして国際的にも訴求力のあるイベントへと拡張
 - ・ 国際的なプライベートバンクの協力を得て海外コレクターも誘客
 - ・ 出展数 ③〇 約60作家・約150点（②⑨ 約40作家・約100点）

京都・和食の祭典開催事業

③〇当初 15 百万円

- 明治以降、生活文化として確立してきた「和食」について実演、展示、トークショー等により発信

新 伝統産業未来への継承事業

③〇当初 5 百万円

- 明治初期の産業改革への挑戦や現在の危機的状況を打破する新たな取組を府内外に発信する産地組合の取組に対し支援（補助率1/2 上限額1,000千円）



② 明治150年記念京都発信事業（続き）

新 京都府開庁150年記念式典開催事業

⑩当初 23 百万円

- 開庁記念式典とともに旧本館において明治期京都の近代化等を紹介
- 明治期の日本を描いた貴重な映画資料等の上映、皇室を彩った工芸資料・重要文化財の展示等を実施

新 明治150年情報発信事業

⑩当初 5 百万円

- 明治150年関連事業の情報をリアルタイムに発信するポータルサイトを開設
- テレビやラジオ等におけるスポット放送により戦略的な広報を実施

新 明治150年観光PR事業

⑩当初 7 百万円

- 明治150年関連史跡の情報発信・誘客を実施

京都府 平成30年度当初予算案 主要事項(文化関係)

(単位:千円)

事 項	予 算 額	事 業 の 概 要
明治150年京都創生事業費	127,000	明治150年を契機に、明治の衰退期の危機を乗り越えた京都府の挑戦を振り返り、京都の次代を担う人づくりと文化・産業の更なる発展につなげる
上記のうち		
次世代文化育成事業	12,500	幼稚園や学校等に置いて体験活動を通じて文化・芸術に触れる機会を創出
「Kyoto Art for Tomorrow」開催費	16,000	新時代への新たな挑戦をキーワードに次世代作家が創造するみずみずしい作品の展示・表彰の実施
「ワールドアーティストフェア京都」開催費	34,000	新たな市場の開拓に向けアーティスト自らが出展・プレゼン・作品販売などを行う見本市や京都最高の美術工芸家の展覧会等を開催
京都府開庁150年記念式典開催費等	23,500	開庁記念式典とともに日本館において明治期京都の近代化等を紹介。また、明治期の日本を描いた貴重な映画資料等の上映、皇室を彩った工芸資料・重要文化財の展示等を実施
「文化のみやこ・京都」推進事業費(一部再掲)	284,743	文化力による京都の活性化のため、文化を継承し、新たな文化を創造する次世代の人づくりや地域文化の活用による個性豊かな地域づくりにより「文化のみやこ・京都」を一層推進する。
上記のうち		
心ゆたかな芸術・文化のまちづくり事業費	4,000	福祉施設での若手や障害のあるアーティストの作品展示等、年齢・障害、経済状況、居住地域を問わない文化・芸術による共生社会の実現のための取組を実施
文化のこころ育成事業費	5,500	幼稚園等への芸術家の派遣等、就学前の感性豊かな時期に文化・芸術に触れる機会を提供
芸術村づくり事業費	4,600	若手芸術家や地域で活動する劇団等の発表の場を創出し、府内のどこにいてもアートやパフォーマンスに親しめるギャラリーやシアターを実施
文化を未来に伝える次世代育み事業費	22,600	児童生徒に対し、質の高い文化・芸術及び伝統文化を体感する機会を提供することにより、豊かな心の育成を図り、文化芸術の振興、次世代継承の取組を実施
文化芸術施設整備費	113,608	文化芸術振興の「拠点」としての機能及び発信力を強化するため、緊急度の高い施設や設備の充実・機能回復を実施
「ほんまもん」の京文化創造発信事業費	37,475	京都府が核となり、京都文化を支える文化芸術団体の分野横断的連携を促進するとともに、各分野の芸術活動を振興し、新たな京都文化を創造
全国高校生伝統文化フェスティバル開催費	21,000	伝統文化の次世代への継承・発展のため、全国トップレベルの高校生が京都に集い、日頃の成果を披露し合うとともに、新たな出会いと交流の場となる文化フェスティバルを文化庁等と共同開催
京都Re-Search芸術祭創生事業費	24,960	地域アートマネージャー等を配置し、リサーチを主とした短期アーティスト・イン・レジデンス(AIR)と、その成果を踏まえた制作発表を伴う中期AIRを府内各地で展開することにより、地域文化資源発信型のAIRの開催に向けた取組を推進

京都府 平成30年度当初予算案 主要事項(文化関係)

(単位:千円)

事 項	予 算 額	事 業 の 概 要
ICOM京都大会2019開催準備費	6,000	2019年(平成31年)9月に開催のICOM(国際博物館会議)京都大会2019に向けて、府・京都市、関係団体、京都経済界等で組織する京都推進委員会として気運醸成や大会受入準備の取組を実施する。
北山文化環境ゾーン整備推進費	117,900	北山地域において文化・環境・学術の交流・発信拠点となる「北山文化環境ゾーン」の整備
国際京都学活動推進事業費	(17,000)	京都学・歴史館を拠点として、京都の歴史、文化に関するフォーラム等を実施し、国内外の大学や研究機関等との研究ネットワークを構築
北山文化環境ゾーン広場・プロムナード整備費	(100,000)	京都学・歴史館と周辺施設との連携・交流を図るため、広場及びプロムナードを整備
北山文化環境ゾーン連携促進事業費	(900)	北山文化環境ゾーン交流連携会議(北山ぱーとなーず)による北山の魅力発信
四季の彩り事業費	9,000	府立植物園における四季折々の魅力を更に向上させ、より多くの府民に親しんでいただく憩いの場を提供するため、桜林のライトアップや冬のイルミネーション等を実施
京都文化カプロジェクト2016-2020開催費	74,000	2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に、京都の文化を世界に発信し、新しい文化創造を目指す「京都文化カプロジェクト2016-2020」の実施計画に基づく施策の実施
こころを育む古典の日推進事業費	7,500	「古典の日フォーラム」や中学高校生等による古典文学朗読の全国公募コンテストの実施
祇園祭山鉾懸装品新調事業費補助金	15,000	祇園祭山鉾懸装品の新調事業に対する補助金
こころのふるさと京都の文化財保護事業費	87,250	「文化財を守り伝える京都府基金」への寄附金を活用した文化財の保全事業等の実施
和食文化高等教育機関設置推進費	45,000	民間との連携による和食文化の保護・継承を図るため、府立大学における「和食文化学科(仮称)」設置に向けた準備及び学問体系の構築に係る調査・研究等に対する支援

京都府 平成30年度当初予算案 主要事項(文化関係)

(単位:千円)

事 項	予 算 額	事 業 の 概 要
文化財保護強化事業費	233,400	府内の貴重な文化財を災害破損・流出防止の観点から早期保護を図るため、文化財の保存修理や防災対策としての整備に対する助成等を強化
暫定登録文化財等緊急修理保護事業費	(70,000)	「暫定登録文化財」の緊急修理や防災対策のための資機材整備に対する助成
府指定・登録文化財保存修理事業費	(94,000)	府指定・登録文化財を保存するための修理等に対する助成
こころのふるさと京都の文化財保護事業費(未指定文化財保存修理事業)(一部再掲)	(65,000)	未指定であっても貴重な文化資料等を保存するための修理等に対する助成
未指定文化財現況調査	(4,400)	「暫定登録文化財」の登録に向けた調査等を実施
歴史的建造物等保存伝承事業費	1,642,706	文化財を後世に継承するため、建造物等の保存修理や文化財維持管理等に要する経費の補助等を実施
上記のうち		
建造物・史跡・埋蔵文化財の活用等	9,500	文化財の保存修理現場の公開、史跡・埋蔵文化財のツアー等を実施